

多摩ニュータウンまちづくり方針の策定に係るワークショップ 開催概要

■ワークショップの目的

- 本ワークショップ（以下「WS」という。）は、「(仮称) 多摩ニュータウンまちづくり方針」の策定に向けて、地域住民や大学生等によって地域課題解決の取組みについて調査・検討を行うことで、多摩ニュータウンの目指す将来像や、今後の施策の方向性や考え方を、様々な主体と共有することを目的として開催する。

■WSの概要について

- 首都大学東京 饗庭教授にコーディネータとしてご参画いただくとともに、饗庭研究室の学生にご参加いただく。また、中央大学 和田教授のご協力のもと、和田ゼミ所属の学生にもご参加いただく。
- WSでは、検討ユニット（5～8ユニット程度を想定）ごとの検討を行う。検討ユニットは地域住民や学生等で構成する。ユニットごとに、下表の題材（案）を元に検討テーマを設定し、PBL形式で課題解決に向けたプロジェクト検討を行う。
- 検討したプロジェクトについて、WSで発表を行う。

題材（案）	概要
団地内商店街(近隣センター)の空き店舗活用について	団地内商店街(近隣センター)の空き店舗の活用について
進行する高齢化と丘陵地形での徒歩移動の負荷について	高齢化が進行する丘陵地形の地域における、高齢者等の徒歩移動負荷について
団地の空室活用について	一定数ある団地の空室への居住促進策や活用策について
新たな産業やイノベーション創出環境について	新たな産業の創出に資する、イノベティブ・クリエイティブな環境の整備について
大学生の定住化について	大学卒業後の定住化(卒業・就職に伴う転出後、ファミリー世帯となって再度居住する場合も含む)の促進について
住宅ストック活用と地域活性化について	多摩ニュータウンの良好な住宅ストックを学生寮(国際寮含む)やシェアハウスとして活用することや、地域コミュニティの維持・発展等について
まちブランドの創出、まちの魅力発信について	地域資源を活かし、多摩ニュータウンの魅力を再発見し、発信すること等、まちブランドの創出について
公共施設の利活用について	少子化によって増加する小中学校の余裕スペースや、多摩ニュータウンに多く存在する公園等のさらなる活用による課題解決や地域活性化について

■開催について

- WSは平成29年度から平成30年度まで、全4回開催予定。
- 開催予定は、下表のとおり。

回次	日時	場所
第1回	平成30年2月24日(土) 10:00～12:00(予定※)	南大沢文化会館 (予定※)
第2回	平成30年3月3日(土) 10:00～12:00(予定※)	
第3回	平成30年4月8日(日) 10:00～12:00(予定※)	
第4回	平成30年4月15日(日) 10:00～12:00(予定※)	

※開催時間及び場所は、現時点での予定